

令和4年度
性の多様性に関する
市民アンケート報告書



令和4年11月
久喜市

調査概要

1 調査の目的

本市における、性の多様性に関する今後の取組みの参考とするため、市民(市内在住・在勤・在学)のみなさまのご意見を伺い、取組みに活かしていくために実施したものです。

2 調査の内容

調査対象	市民(市内在住・在勤・在学)
調査方法	「久喜市電子申請・届出サービス」によるインターネット回答 ※電子申請を利用できない方には、紙の調査票を送付し、メール 又はFAXにて調査票を回収する対応を予定していましたが、 該当はありませんでした。
調査期間	令和4年10月1日(土)～令和4年10月21日(金)
調査項目	自由回答項目を含む全18項目 ・回答者について ・言葉の認知度について ・性的少数者について ・パートナーシップ宣誓制度・ファミリーシップ制度について ・市の取組みについて
その他	アンケートの最後には、「用語解説」及び「無料相談窓口」を掲載し、 市民のみなさまへ周知しました。
回答者数	304人(すべて「久喜市電子申請・届出サービス」による回答)

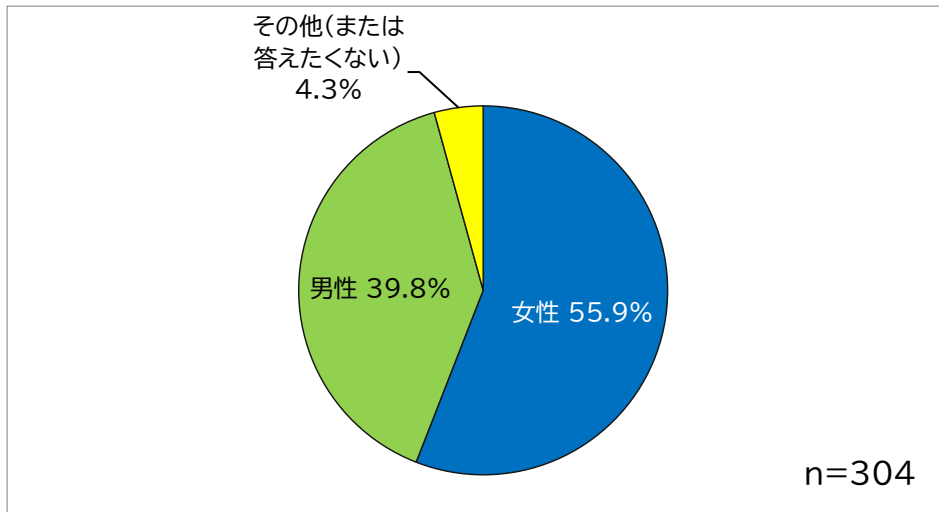
3 集計結果の見方

- ・図表中の「n」(=number)は、設問への回答者数を表しています。
- ・調査結果の比率は、その設問の回答者数を基数として、小数点以下第2位を四捨五入して算出し、小数点以下第1位までを表示しています。したがって、回答者比率の合計は必ずしも100%にならない場合があります。
- ・複数回答形式の設問については、その設問の回答者数を基数として、比率を算出しています。したがって、すべての回答比率の合計が100%を超えることがあります。
- ・本文や図表中では、なるべく調査票そのままの表現を用いていますが、スペースなどの関係から、省略した表記を用いる場合があります。
- ・自由回答欄、その他欄の回答は、誤字の修正や言い回しを調整した箇所や、人権推進課が分類別に集計した箇所があります。また、複数のご意見のうち、本報告書ではその一部を掲載している場合があります。

調査結果

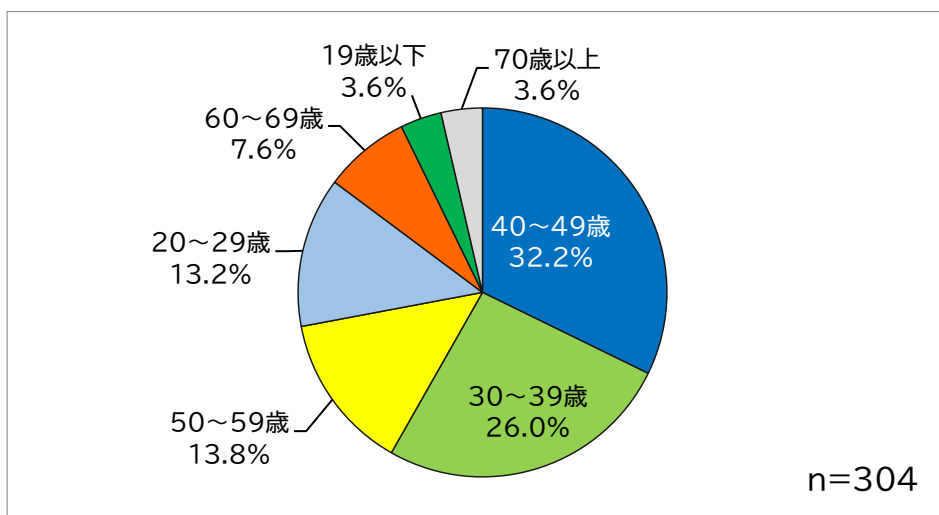
回答者について

問1 あなたの性別をおたずねします。(ご自身の認識でお答えください。)(1つだけ選択)



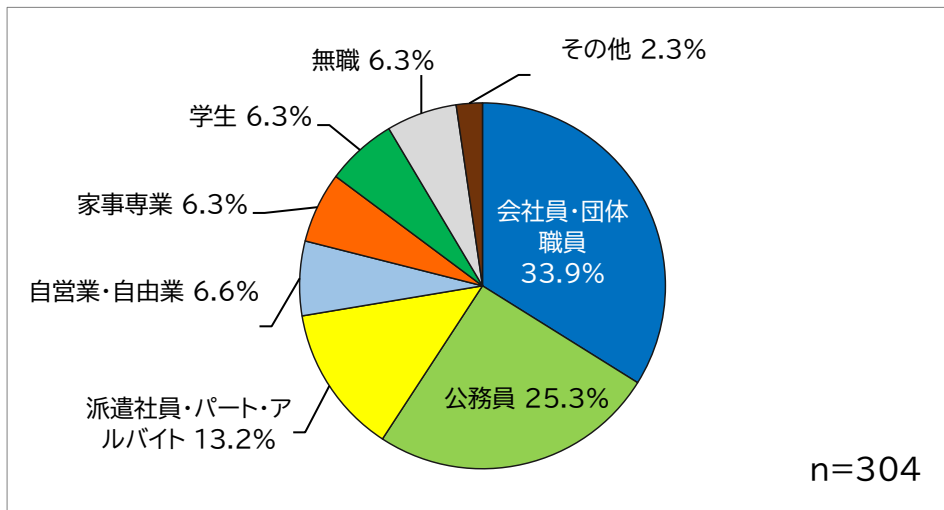
回答	件数	割合
1. 女性	170	55.9%
2. 男性	121	39.8%
3. その他(または答えたくない)	13	4.3%
合計	304	

問2 あなたの年齢をおたずねします。(令和4年10月1日現在の満年齢)(1つだけ選択)



回答	件数	割合
1. 19歳以下	11	3.6%
2. 20~29歳	40	13.2%
3. 30~39歳	79	26.0%
4. 40~49歳	98	32.2%
5. 50~59歳	42	13.8%
6. 60~69歳	23	7.6%
7. 70歳以上	11	3.6%
合計	304	

問3 あなたの職業をおたずねします。(1つだけ選択)



回答	件数	割合
1. 会社員・団体職員	103	33.9%
2. 自営業・自由業	20	6.6%
3. 派遣社員・パート・アルバイト	40	13.2%
4. 公務員	77	25.3%
5. 家事専業	19	6.3%
6. 学生	19	6.3%
7. 無職	19	6.3%
8. その他	7	2.3%
合計	304	

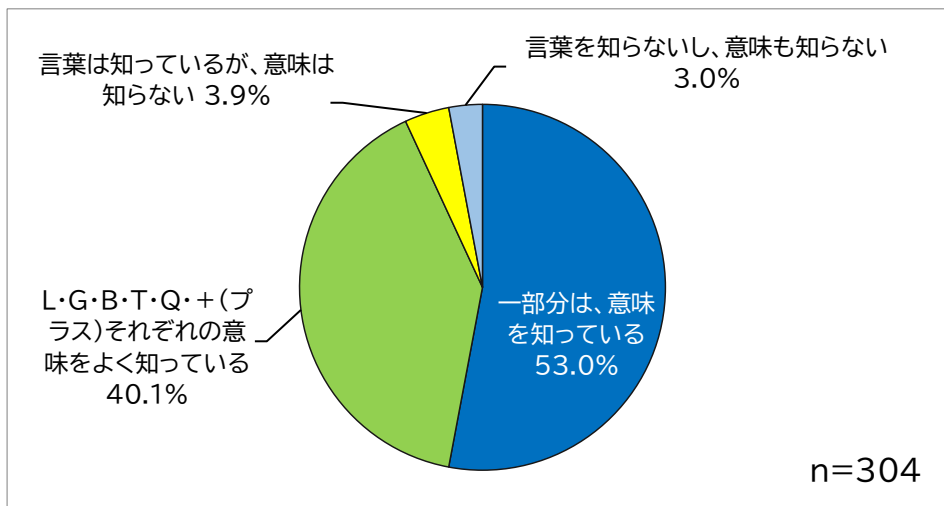
<その他回答(抜粋)>

・医師 ・農業者

言葉の認知度について

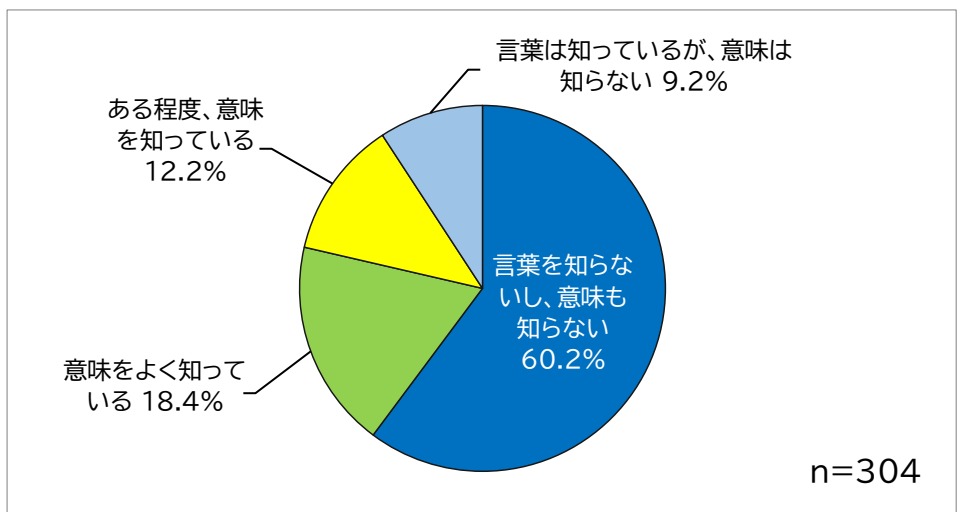
問4 あなたは、次の(1)～(3)の言葉について知っていますか。また、意味を知っていますか。それぞれ最後の<用語解説>を読む前の認識でお答えください。

(1)LGBTQ+(プラス) (1つだけ選択)



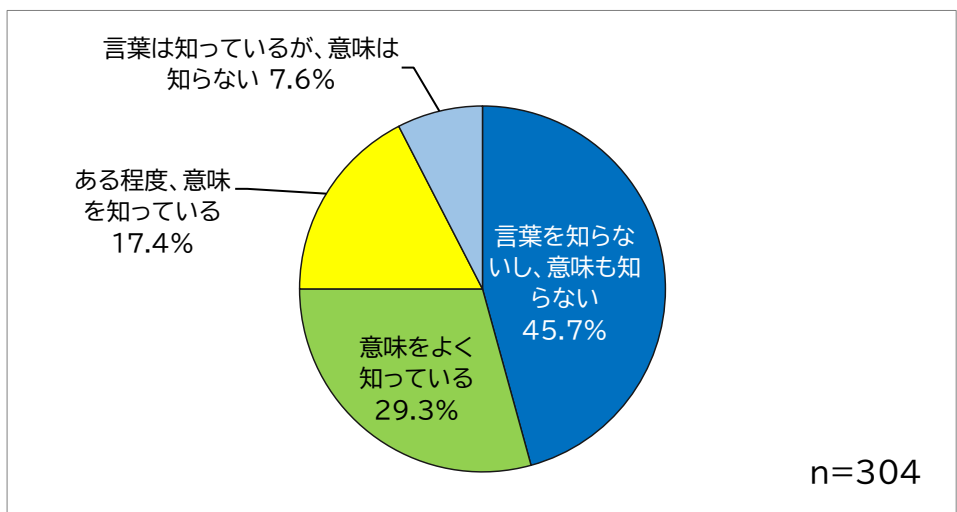
回答	件数	割合
1. L・G・B・T・Q・+(プラス)それぞれの意味をよく知っている	122	40.1%
2. 一部分は、意味を知っている	161	53.0%
3. 言葉は知っているが、意味は知らない	12	3.9%
4. 言葉を知らないし、意味も知らない	9	3.0%
合計	304	

(2)アライ (1つだけ選択)



回答	件数	割合
1. 意味をよく知っている	56	18.4%
2. ある程度、意味を知っている	37	12.2%
3. 言葉は知っているが、意味は知らない	28	9.2%
4. 言葉を知らないし、意味も知らない	183	60.2%
合計	304	

(3)アウトティング (1つだけ選択)



回答	件数	割合
1. 意味をよく知っている	89	29.3%
2. ある程度、意味を知っている	53	17.4%
3. 言葉は知っているが、意味は知らない	23	7.6%
4. 言葉を知らないし、意味も知らない	139	45.7%
合計	304	

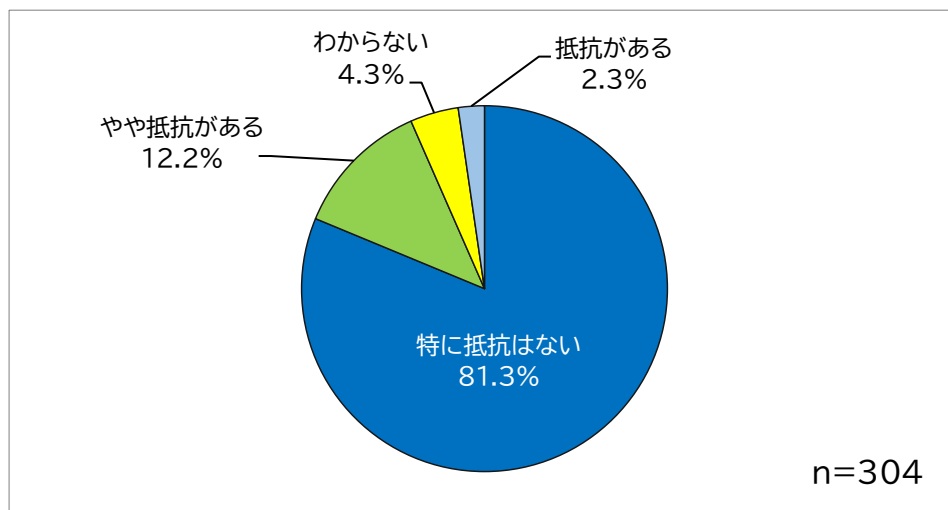
性的少数者について

問5 あなたは、次の方が性的少数者だとしたら、どう思いますか。

あなたの気持ちにもっとも近いものを選んでください。

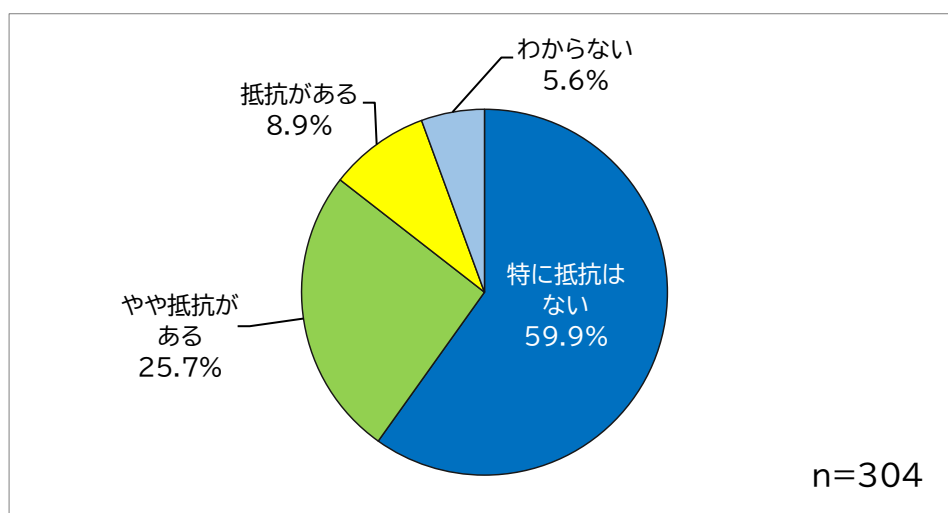
※性的少数者とは、恋愛対象が異性だけではない人や、自分の性別に違和感を覚える人、性同一性障がいなどの人々のことを言います。LGBTQ+(プラス)と言われることもあります。

(1)友人や知人（1つだけ選択）



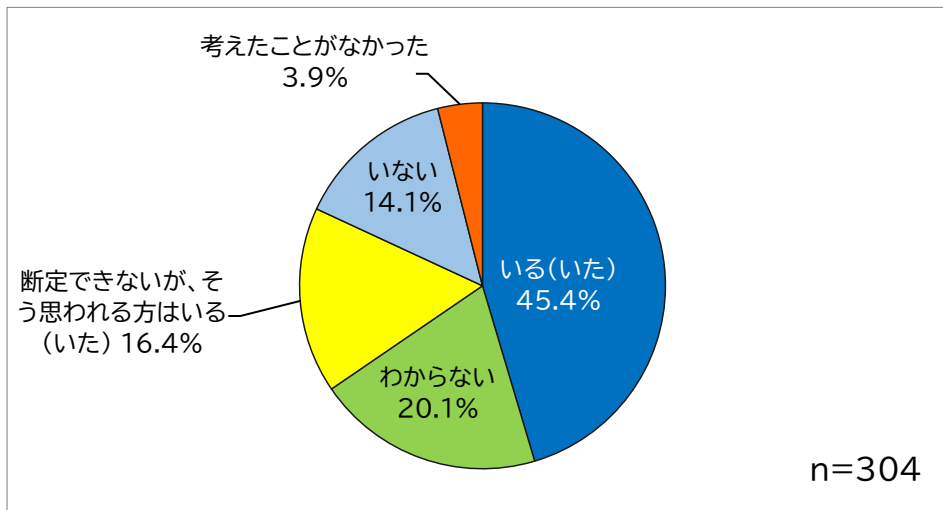
回答	件数	割合
1. 特に抵抗はない	247	81.3%
2. やや抵抗がある	37	12.2%
3. 抵抗がある	7	2.3%
4. わからない	13	4.3%
合計	304	

(2)自分の家族（1つだけ選択）



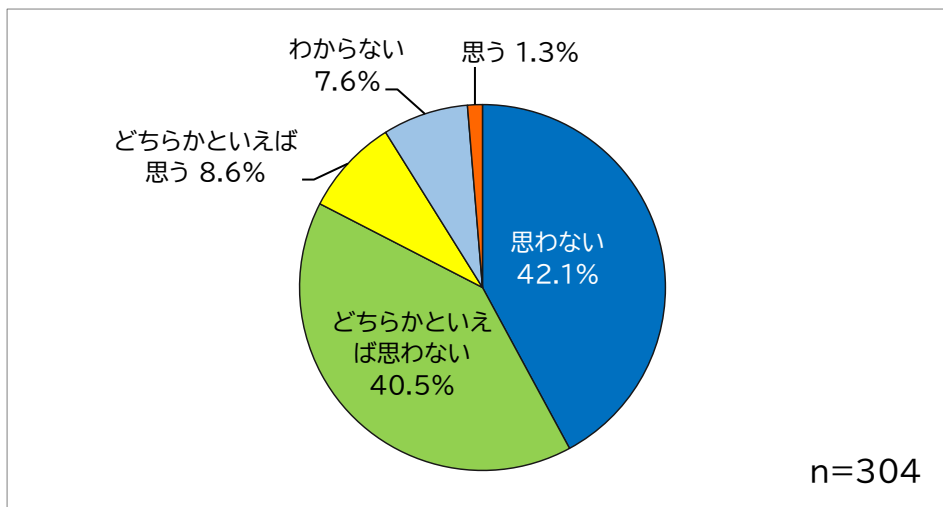
回答	件数	割合
1. 特に抵抗はない	182	59.9%
2. やや抵抗がある	78	25.7%
3. 抵抗がある	27	8.9%
4. わからない	17	5.6%
合計	304	

問6 あなたのまわりに性的少数者の方はいます(いました)か。(1つだけ選択)



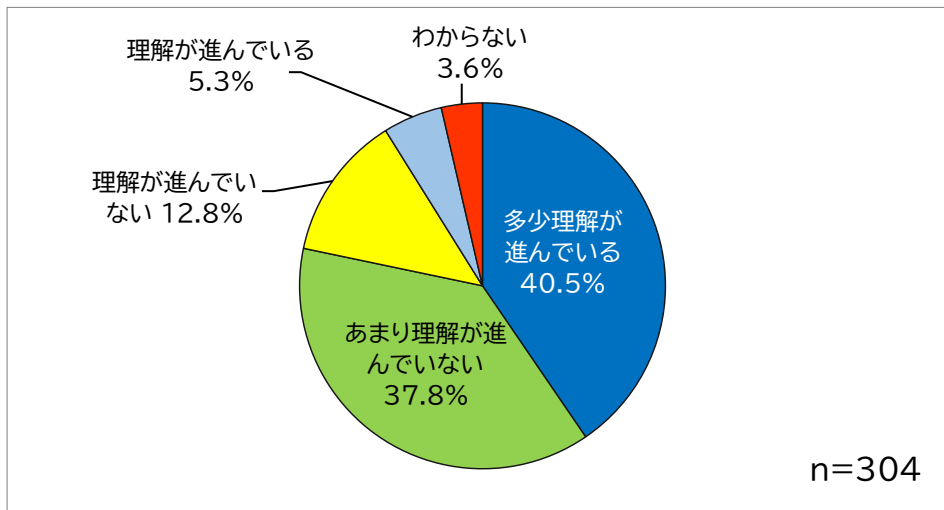
回答	件数	割合
1. いる(いた)	138	45.4%
2. 断定できないが、そう思われる方はいる(いた)	50	16.4%
3. いない	43	14.1%
4. わからない	61	20.1%
5. 考えたことがなかった	12	3.9%
合計	304	

問7 現在の社会は、性的少数者の方にとって暮らしやすい社会だと思いますか。(1つだけ選択)



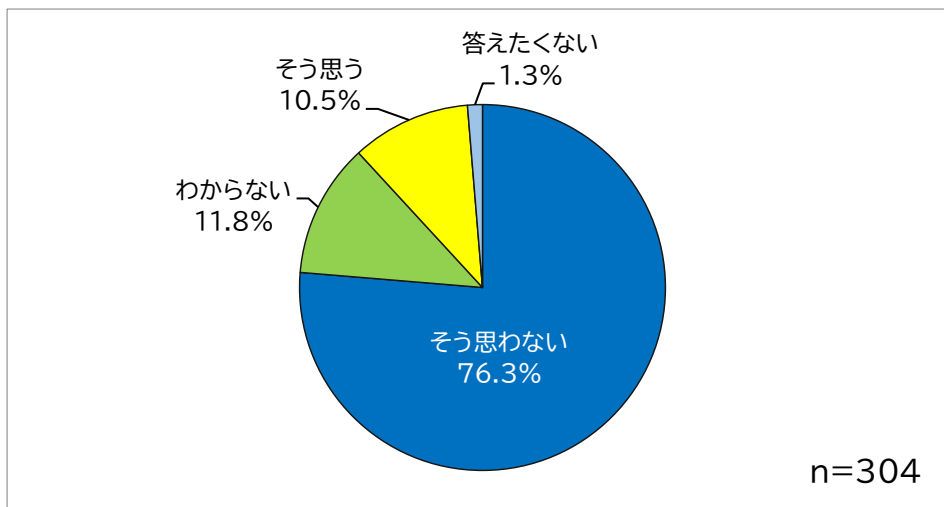
回答	件数	割合
1. 思う	4	1.3%
2. どちらかといえば思う	26	8.6%
3. どちらかといえば思わない	123	40.5%
4. 思わない	128	42.1%
5. わからない	23	7.6%
合計	304	

問8 現在の社会は、多様な性のあり方への理解が進んでいると思いますか。(1つだけ選択)



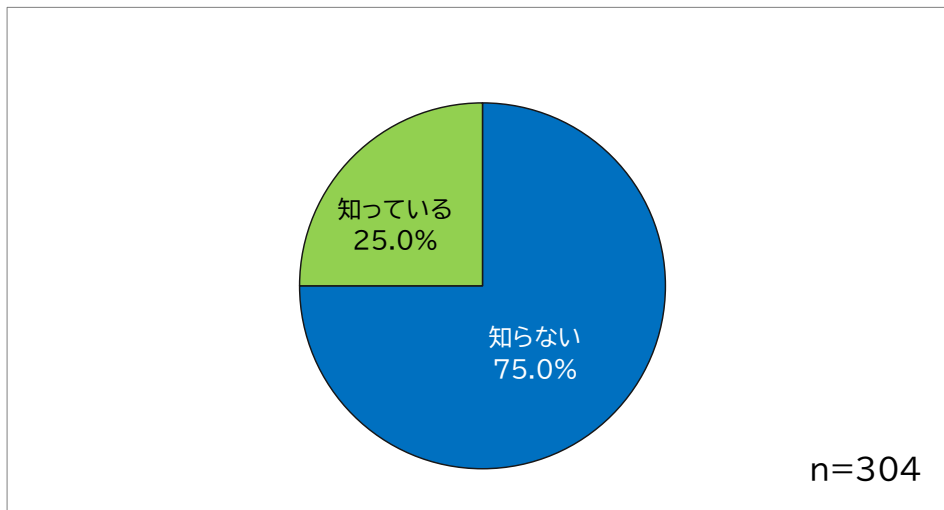
回答	件数	割合
1. 理解が進んでいる	16	5.3%
2. 多少理解が進んでいる	123	40.5%
3. あまり理解が進んでいない	115	37.8%
4. 理解が進んでいない	39	12.8%
5. わからない	11	3.6%
合計	304	

問9 あなたは、ご自身についてLGBTQ+(プラス)にあてはまると思えますか。(1つだけ選択)



回答	件数	割合
1. そう思う	32	10.5%
2. そう思わない	232	76.3%
3. わからない	36	11.8%
4. 答えたくない	4	1.3%
合計	304	

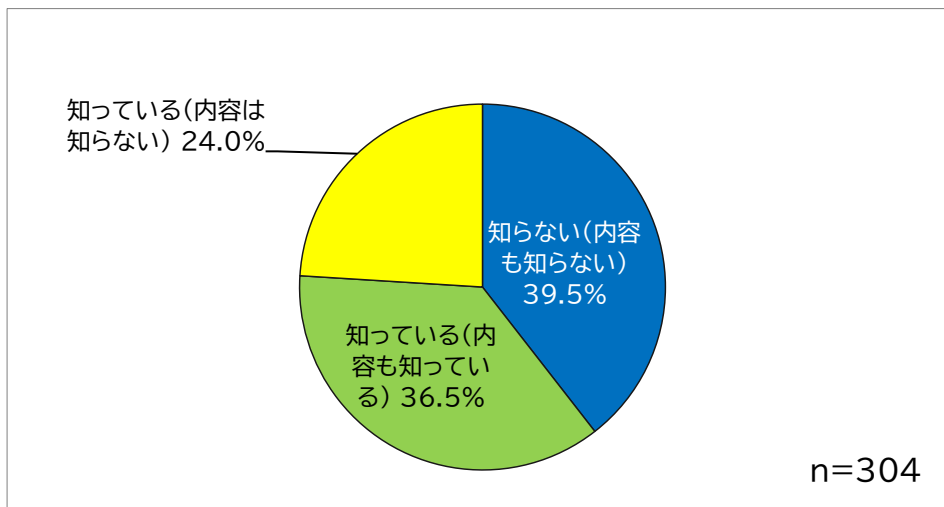
問10 あなたは、性的少数者に関する専門の相談機関を知っていますか。(1つだけ選択)



回答	件数	割合
1. 知っている	76	25.0%
2. 知らない	228	75.0%
合計	304	

パートナーシップ宣誓制度・ファミリーシップ制度について

問11 本市が、令和3年10月1日に開始したパートナーシップ宣誓制度を知っていますか。(1つだけ選択)



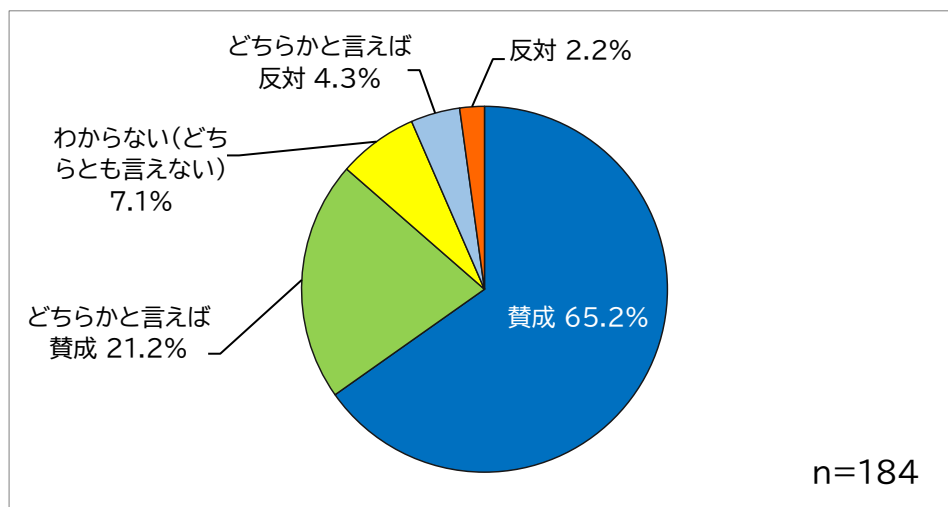
回答	件数	割合
1. 知っている(内容も知っている)	111	36.5%
2. 知っている(内容は知らない)	73	24.0%
3. 知らない(内容も知らない)	120	39.5%
合計	304	

問12 あなたは、ファミリーシップ制度についてどう思いますか。理由も併せてお答えください。

(1つだけ選択)

※問11で「知っている(内容も知っている)」「知っている(内容は知らない)」と回答した方のみお答えください。

ファミリーシップ制度とは、性的少数者のパートナーだけでなく、同居する子どもも含めて家族として宣誓できる制度です。



回答	件数	割合
賛成	120	65.2%
どちらかと言えば賛成	39	21.2%
どちらかと言えば反対	8	4.3%
反対	4	2.2%
わからない(どちらとも言えない)	13	7.1%
合計	184	

回答の理由	賛成	どちらか と言えば 賛成	どちらか と言えば 反対	反対	わから ない(ど ちら とも 言え ない)	合計
ファミリーシップ制度に関すること	33	10	4	1	9	57
家族に関すること	25	3			1	29
子どもに関すること	12	10	2	1	1	26
人権・権利に関すること	13	3				16
社会に関すること	12	2				14
受けられるサービス・手続き等に関すること	6	3				9
その他	19	8	2	2	2	33
合計	120	39	8	4	13	184

<ファミリーシップ制度に関すること(抜粋)>

- ・制度があることで生きやすい人もいると思うから。【賛成】
- ・公的な制度として存在すること自体がマイノリティの方への支援になる。【賛成】
- ・選択の幅が増えると助かると思います。【賛成】
- ・制度があれば周りの目を気にせず堂々と家族でいられると思うから。【賛成】
- ・制度の制定により、救われる方がいるのであれば、その意味はあると考えます。【どちらかと言えば賛成】
- ・あくまでも、当事者に対する制度として、パートナーシップ制度を進めるべきと思います。【どちらかと言えば反対】
- ・家族でない人間の集団に、家族と同じ特権を与えることの根拠がない。【反対】
- ・ファミリーシップ制度のメリットがよくわからない。【わからない(どちらとも言えない)】

<家族に関すること(抜粋)>

- ・家族の在り方が大きく変化して来ました。一緒にいることが幸せであるということが一番大事と考えます。【賛成】
- ・多様な家族のあり方があって良いと思う。【賛成】
- ・家族に血縁や性別は関係なく、その人たちの意思のもので家族でいられたら良いと思っているため。【賛成】
- ・パートナーと生活するのは、自由ですが、家族までとなると、理解出来ない部分もあります。税金を投入するのであれば、難しいかと思います。【わからない(どちらとも言えない)】

<子どもに関すること(抜粋)>

- ・子どもも家族として認められるべきであり、子どもにとっても必要なことであると思う。【賛成】
- ・子どもも含めて認めてあげたいから。でも、子どもの気持ちも大事にしてほしい。【どちらかと言えば賛成】
- ・子どもが大きくなった時に子どもが選択できるのなら賛成。【どちらかと言えば賛成】
- ・子どもの意思確認の是非。【どちらかと言えば反対】
- ・小さな子どもに理解させるのに、必要かわからないから。【わからない(どちらとも言えない)】

<人権・権利に関すること(抜粋)>

- ・誰もが幸せに暮らす権利があるので。【賛成】
- ・人権があるからです。ファミリーシップ制度は当然です。【賛成】
- ・性的マイノリティの権利保護は必要だと思うから。【どちらかと言えば賛成】

<社会に関すること(抜粋)>

- ・性的少数者の方々が暮らしやすい社会を作るためには必要な制度であるため。【賛成】
- ・今後の社会には必要がある。性的少数者でも経済的に余裕があり子どもを育てることができる家庭は多い。【賛成】
- ・社会全体で理解を深めていく必要があるため。【どちらかと言えば賛成】

<受けられるサービス・手続き等に関すること(抜粋)>

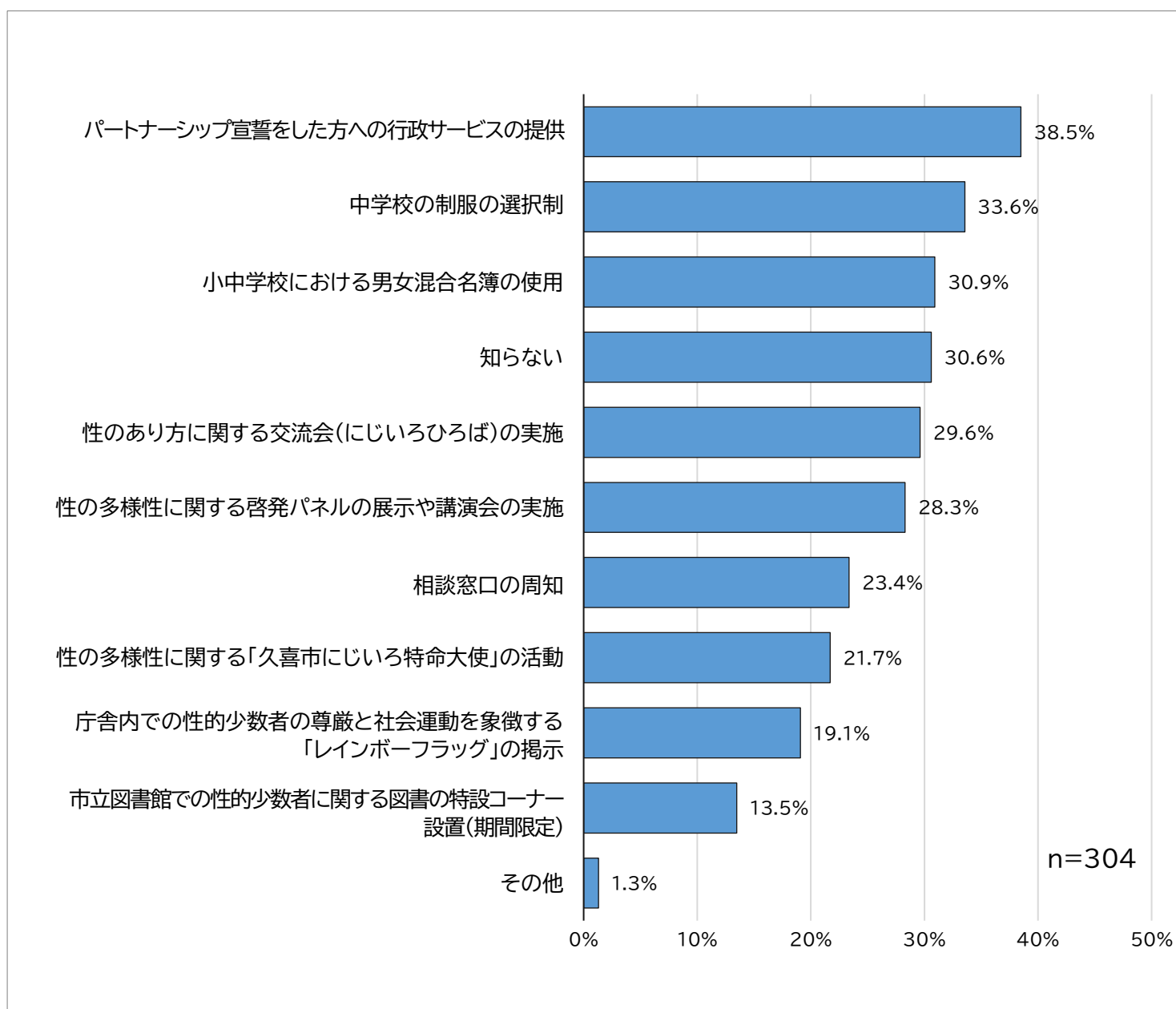
- ・家族と宣誓することで、受けられるサービス・制度が増えるならいいことだと思います。【賛成】
- ・もしも子どもやパートナーに怪我や病気等何かあった時に家族でないと面会出来なかったりするし、子どもを持ってない扱いになる方のパートナーは壁を感じるように思う。【賛成】
- ・家族として手続きが出来るというのと便利になる。【どちらかと言えば賛成】

<その他(抜粋)>

- ・特になし。【賛成】
- ・反対する理由がない。【賛成】
- ・愛情、幸せの形は人それぞれなのでいいとおもいます。【賛成】
- ・本人の意思の自由。【どちらかと言えば賛成】
- ・理解はしているがやはり抵抗がある。【どちらかと言えば反対】
- ・婚姻制度以外のものができるのは分かりにくく意味があるようには思えない。必要性を感じない。【反対】
- ・当事者の方の意見を尊重したらいいと思う。【わからない(どちらとも言えない)】

市の取組みについて

問13 あなたが知っている、性の多様性に関する市の取組みをすべて選んでください。(複数選択可)

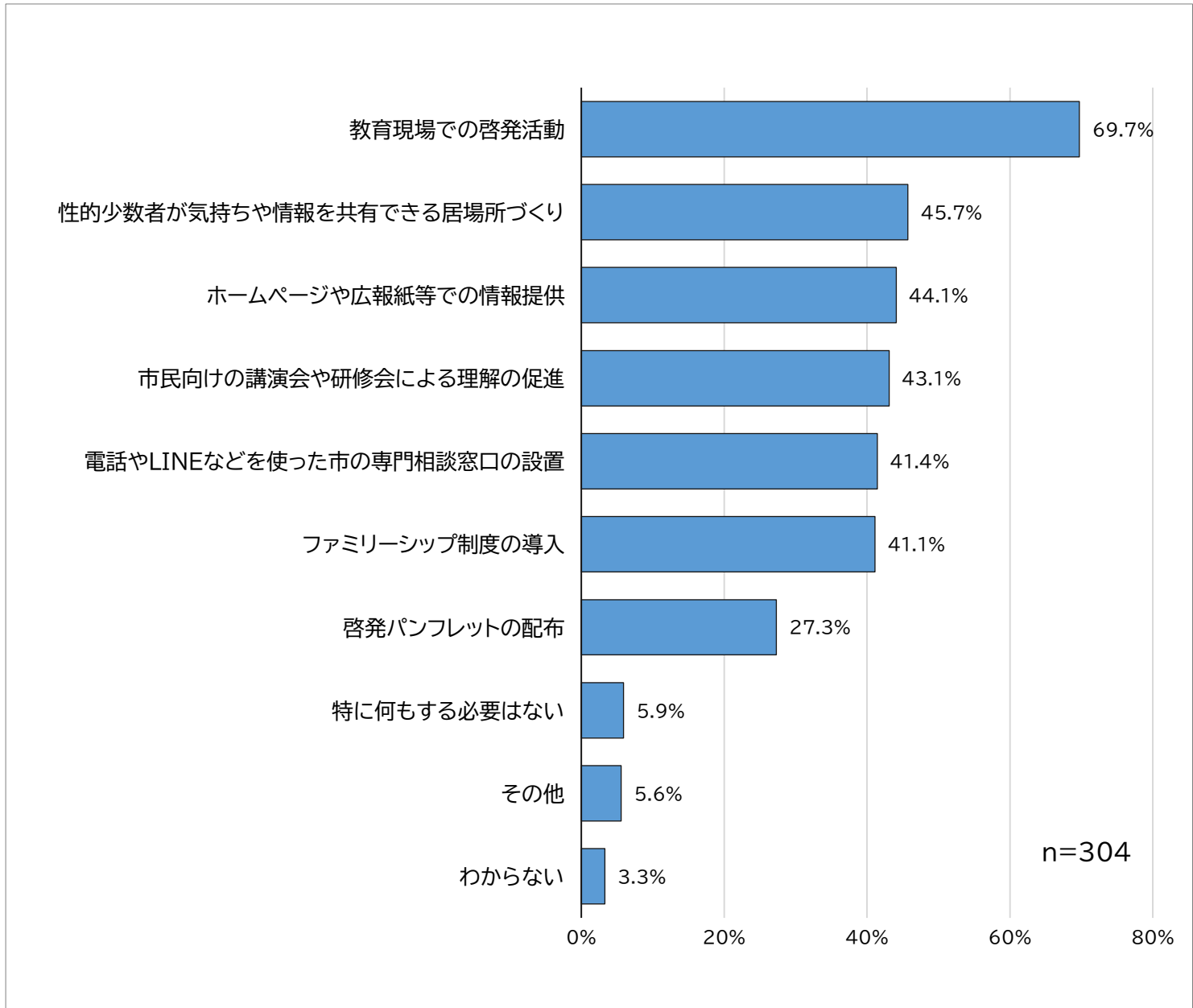


回答	件数	割合
1. 性の多様性に関する啓発パネルの展示や講演会の実施	86	28.3%
2. 性のあり方に関する交流会(にじいろひろば)の実施	90	29.6%
3. 性の多様性に関する「久喜市にじいろ特命大使」の活動	66	21.7%
4. パートナーシップ宣誓をした方への行政サービスの提供	117	38.5%
5. 相談窓口の周知	71	23.4%
6. 庁舎内での性的少数者の尊厳と社会運動を象徴する「レインボーフラッグ」の掲示	58	19.1%
7. 市立図書館での性的少数者に関する図書の特設コーナー設置(期間限定)	41	13.5%
8. 小中学校における男女混合名簿の使用	94	30.9%
9. 中学校の制服の選択制	102	33.6%
10. 知らない	93	30.6%
11. その他	4	1.3%
合計	822	

<その他回答(抜粋)>

・生徒を〇〇君 〇〇ちゃんと呼ばない。

問14 性の多様性を認め合う社会にしていくため、今後、市はどのような取組みをしたらよいと思いますか。
(複数選択可)



回答	件数	割合
1. 市民向けの講演会や研修会による理解の促進	131	43.1%
2. 教育現場での啓発活動	212	69.7%
3. ホームページや広報紙等での情報提供	134	44.1%
4. ファミリーシップ制度の導入	125	41.1%
5. 性的少数者が気持ちや情報を共有できる居場所づくり	139	45.7%
6. 電話やLINEなどを使った市の専門相談窓口の設置	126	41.4%
7. 啓発パンフレットの配布	83	27.3%
8. 特に何もする必要はない	18	5.9%
9. わからない	10	3.3%
10. その他	17	5.6%
合計	995	

<その他回答(抜粋)>

- ・トイレなど当事者が感じている課題の解決。
- ・プライドパレード。
- ・価値観の多様性を認め合える取り組みや意見交換が躊躇なく行える環境作り。

問15 性の多様性に関する本市の取組みについて、ご意見・ご要望などがありましたら、入力してください。
(自由回答)

回答入力数:82件

<自由回答(抜粋)>

- ・LINEでこのアンケートを知りました。取組み自体をなんとなく聞いた事がある様な気がする……程度でしたが、改めて市の取組みを勉強しようと思えました。発信していただいたことに感謝すると共に、発信が興味をモチそうな見出しであったことも関係すると思います。発信者が特定の人でなく、複数人だったりすると発信の仕方も変わり、見つけやすくなるかもしれません。さらなる活動を期待しております。
- ・久喜市が性の多様性に関して前向きな取組みを様々していることをこのアンケートで知りました。当事者としてはその姿勢がとてもありがたく思います。社会に変化が現れるまで時間はかかると思いますが、地道に続けて頂けると嬉しいです。
- ・庁舎内でそっと置かれたレインボーフラッグを見た時は嬉しくなりました。当事者は実はどこにでもいます。これからの啓発活動やファミリーシップ制度の導入に期待しております。
- ・性の多様性についての取組みは、もう十分だと思う。
- ・制度を取り入れて今後の在り方を考え始めている姿勢は素晴らしいと思います。その第一歩に救われている方が存在する限り、一歩ずつ前進して下さると嬉しいです。
- ・市の取組み、努力は感じますが、特定な人しか対象になっていないように思われます。学生は学校で知る機会は、あります、なにも、属していない方々への周知が必要に感じます。高齢者や、仕事に従事していない人、ネットに触れない人にも知ってもらう努力が必要だと思います。
- ・パートナーシップ制度で婚姻制度と同等の権利が認められるようにしてください。性別に関係なく、人生を添い遂げるパートナーとして最期の瞬間に立ち会うことや、遺産の相続権利があることを認めていただきたいです。
- ・性的少数者への配慮は大切ですが、多数派？への配慮も同様に大切にしていってほしいです。もし、公共施設のトイレや、市民プールの更衣室等、性別により使用をわけべき空間において性的少数派の意見のみを尊重した場合、多数派が不快な気持ちになり、結果的に性的少数者全般への嫌悪感を感じてしまうこともあるかもしれません。
- ・久喜市出身久喜市在住です。パートナーシップ制度の導入を知った時、私の地元は進んでるんだなあ……とびっくりし、市政に興味を持つようになりました。市のツイッターをフォローしているのですが、LGBTQ +や女性支援のためのイベント等の告知をみるたび、市の中心で働く人々の意識が高いんだな、これが私の地元なんだな、と勝手に誇らしく感じています。個人的には小中学生のジェンダー教育にどれほど力を入れられるかに、今後の社会がかかっていると考えています。それと、学校の性教育の授業で、性交渉における同意について、避妊の方法、女性の生理の仕組み等を扱い、「男女問わず」周知させることが重要だと思います。私が小学生だった時は、女子生徒だけに生理の説明がされました。まとまらない文章ですみません。こういうメッセージを送ることでしか支援の気持ちをお伝えする術がなく歯がゆいのですが、応援しています。
- ・多様性については「理解ある人」「特に何も思わない人」「否定的な人」と3種類に分けられると思う。恐らく大半が特に何も思わない人に分類されると思いますが、当事者は「否定的な人」もいることについて理解すべきだと思う。
- ・教育の現場で普通のことだと伝えていくのが重要なことだと思う。
- ・市に提出するような必要な書類とかで性別選択欄を男・女とかではなく書く欄を無くすか、空欄にしておくのがいいと思う。

- ・LGBTに関する絵本や本を公的図書館や学校図書館に常設して欲しいと思います。どんな人も差別なく、自分らしく生きられるには周りの理解は不可欠です。未来を担う子供たちにその認知を深めるのは必須かと思っています。また幼稚園小学校中学校などの公的な場所でLGBTについて取り扱う事は、子供たちが自分のアイデンティティに悩んだ時、社会に受け皿がきちんとあるんだよというメッセージになるのではないかと思います。様々な方にとって住みやすい久喜市になるよう願っています。
- ・相談しやすい方法を考えて頂きたい。若い人はLINEやインターネットを使って顔を知られずが必要だと思っています。大人の方も顔を知られたくないと思っています。制服もスカートにこだわらずズボンも選択肢に入れてあげてほしい。同性同士の婚姻も認めてあげてほしい。
- ・いじめの対象にされやすいですので、特に学校での教育を重視してください。
- ・親せきが性同一性障害で、現在は男性として生活している。中学や高校での苦痛を知っているの、そういった児童や生徒への適切なフォローをお願いしたい。
- ・今まで考えたことが殆どなく、TV、雑誌等の媒体の情報をたまに見るぐらいです。周りに該当する方もおらず（分からない、知ろうと思わないだけかも？）意識することは殆どありません。高齢者になる手前でも有り若者との接触も仕事以外殆どないので情報として現状を知っていたほうが良いのかなあ？というレベルです。
- ・性の多様性は、もちろん自由であり他人がとやかくいうことは問題ではないと。ただ…表立って騒ぎ立てるのはいかがなものかと感じます。
- ・広報くき令和4年10月号での、パートナーシップ宣誓制度の特集を読みました。性の多様性について、テレビやインターネットの報道で目にする事が多いですが、市の広報という身近な媒体で現状を知り、改めて自身の周囲への対応について考え直す機会となりました。今後も広報や講演会、SNSなどの様々な方法で、周知活動を継続していただければと思います。
- ・にじいろ大使の講演会をもっとやって欲しいです。また、小中学校での教育にもどんどん取り入れて、当たり前の社会になって欲しいです。
- ・県内でも、進んだ取り組みをしていると考えます。今後も、対象となる方々に寄り添った対応を期待します。
- ・実際の当事者にどこまで話を聞いてできたものなのか疑問。他の市町村のマネではないものにしてほしい。
- ・正直なところ、市の取り組みはあまり知りませんでした。ただ、こうしたアンケートは非常に価値あることかと思っています。世代により、受けてきた教育や思考性が異なること、同調圧力性の高い日本社会の転換期かと思えますので、積極的な意見交換や周知を期待します。
- ・多様な性があることを認識し、尊重することを教育を通じて行うことが、あらゆる差別をなくしていくことにつながる。